



## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	68,425	19.3	5,083	33.0	5,628	33.8	3,791	38.3
2020年9月期第3四半期	57,372	△10.5	3,821	△22.0	4,205	△17.5	2,741	△20.3

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 4,387百万円(75.6%) 2020年9月期第3四半期 2,498百万円(△14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	132.31	131.34
2020年9月期第3四半期	95.74	95.08

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	50,087	34,194	67.4
2020年9月期	47,230	31,038	64.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 33,760百万円 2020年9月期 30,629百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	18.50	—	19.00	37.50
2021年9月期	—	19.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	15.7	6,000	25.2	6,300	19.5	4,200	39.4	146.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年9月期3Q	29,007,708株	2020年9月期	29,007,708株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年9月期3Q	338,320株	2020年9月期	366,320株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年9月期3Q	28,653,138株	2020年9月期3Q	28,635,063株
------------	-------------	------------	-------------

当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、および「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、ワクチン接種の加速や海外経済の改善により一部に持ち直しの動きも見られました。しかし、変異ウイルスの拡大等により7月に入って感染者数が再び増加し、緊急事態宣言の対象地域が6都府県に拡大されるなど感染症の収束は見通せず、景気の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は68,425百万円（前年同四半期比19.3%増）、営業利益は5,083百万円（前年同四半期比33.0%増）、経常利益は5,628百万円（前年同四半期比33.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,791百万円（前年同四半期比38.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より経営管理区分を変更したことに伴い、従来「化成品」セグメントに含まれていた㈱ワイピーテックを「機械資材」セグメントに変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

#### ① 化成品

ゴム関連商品は供給逼迫と価格高騰が深刻化したものの、自動車向けをはじめ全ての産業で原材料の需要が拡大し、好調に推移しました。化学品関連商品では、主力のUVインキ原料等素材の輸入販売が好調に推移し、韓国向け電子材料の輸出や北米向けフィルムの輸出も堅調に推移しました。また2016年㈱ソート買収に関連したのれん償却が終了し、償却負担が減少しました。

この結果、売上高は23,565百万円（前年同四半期比8.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,514百万円（前年同四半期比45.7%増）となりました。

#### ② 機械資材

産業資材関連商品では、半導体不足による生産調整懸念は緩和し、主力であるシート周辺部材の販売は好調でした。機械・環境関連商品では北海道当別町の大型バイオマス案件が実現、粉体関連は消耗品・保守サービスが堅調に推移しました。科学機器関連商品は、粒子分散や耐候性試験機などが堅調でした。

この結果、売上高は26,016百万円（前年同四半期比15.2%増）、セグメント利益（営業利益）は3,364百万円（前年同四半期比29.1%増）となりました。

#### ③ 海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、高吸水性樹脂やゴム関連が好調に推移しましたが、中国製自動車部品の追加関税や販管費の増加により営業利益は微増に留まりました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、自動車市場の急回復により自動車部部品が大幅に伸長し、全体としては非常に好調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、ゴム関連を中心に化学品・自動車部品も堅調で、増収増益となりました。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、塗料・インキ関連が好調でした。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、自動車関連部品は好調も、中国からの海上輸送費高騰の影響を受け、増収・減益となりました。なお、当期よりPT. Sanyo Trading Indonesiaを連結の範囲に含めています。

この結果、売上高は18,731百万円（前年同四半期比45.4%増）、セグメント利益（営業利益）は932百万円（前年同四半期比38.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、現金及び預金が減少しましたが、売掛金・電子記録債権等の売上債権や商品及び製品が増加したこと等から、前連結会計年度末比2,431百万円増加し、41,923百万円となりました。

固定資産は、減価償却やレンタル用大型機械の売却による減少の一方、南鳩ヶ谷工場の完成に伴う建物及び構築物の増加により、前連結会計年度末比425百万円増加し、8,164百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は50,087百万円（前連結会計年度末比2,856百万円の増加）となりました。

### (負債)

流動負債は、仕入債務が増加した一方、金融機関借入金の返済を進めたことにより、前連結会計年度末比577百万円減少し、14,282百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加や投資有価証券の評価差額計上に伴う繰延税金負債の増加等によって、前連結会計年度末比278百万円増加し、1,610百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は15,893百万円（前連結会計年度末比298百万円の減少）となりました。

### (純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による株主資本の増加に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加によってその他の包括利益累計額が増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における純資産は34,194百万円（前連結会計年度末比3,155百万円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日発表の通期の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,418,674	8,926,682
受取手形及び売掛金	14,157,872	16,520,768
電子記録債権	955,911	1,322,155
商品及び製品	12,275,711	13,468,278
仕掛品	6,421	3,547
原材料及び貯蔵品	3,071	4,193
その他	1,709,181	1,724,818
貸倒引当金	△35,069	△47,002
流動資産合計	39,491,774	41,923,442
固定資産		
有形固定資産	2,675,535	3,128,810
無形固定資産		
のれん	723,329	557,962
その他	484,268	374,139
無形固定資産合計	1,207,597	932,102
投資その他の資産		
投資有価証券	2,974,820	3,131,777
その他	883,982	974,481
貸倒引当金	△3,001	△3,138
投資その他の資産合計	3,855,800	4,103,120
固定資産合計	7,738,934	8,164,032
資産合計	47,230,708	50,087,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,098,568	9,183,380
短期借入金	4,369,188	1,942,164
1年内返済予定の長期借入金	—	15,030
未払法人税等	816,975	732,902
引当金	51,895	518,202
その他	2,523,123	1,891,018
流動負債合計	14,859,752	14,282,698
固定負債		
長期借入金	160,000	244,970
引当金	41,507	44,920
退職給付に係る負債	893,025	931,519
その他	237,944	389,325
固定負債合計	1,332,477	1,610,735
負債合計	16,192,230	15,893,433
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	404,235	403,551
利益剰余金	29,058,414	31,632,257
自己株式	△176,221	△162,751
株主資本合計	30,293,016	32,879,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533,735	803,990
為替換算調整勘定	△197,283	77,037
その他の包括利益累計額合計	336,451	881,027
新株予約権	107,701	117,819
非支配株主持分	301,309	315,550
純資産合計	31,038,478	34,194,041
負債純資産合計	47,230,708	50,087,475

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	57,372,809	68,425,583
売上原価	46,538,365	56,003,093
売上総利益	10,834,443	12,422,489
販売費及び一般管理費	7,012,547	7,338,709
営業利益	3,821,895	5,083,779
営業外収益		
受取利息	19,043	12,765
受取配当金	66,169	68,310
為替差益	272,719	446,690
その他	67,613	61,853
営業外収益合計	425,546	589,619
営業外費用		
支払利息	13,426	12,994
売上割引	6,871	7,110
投資有価証券評価損	—	9,889
その他	21,858	14,975
営業外費用合計	42,157	44,969
経常利益	4,205,284	5,628,430
特別利益		
投資有価証券売却益	—	15,514
固定資産売却益	—	19,578
保険解約返戻金	—	18,742
特別利益合計	—	53,835
特別損失		
関係会社出資金売却損	—	165,414
特別損失合計	—	165,414
税金等調整前四半期純利益	4,205,284	5,516,851
法人税等	1,446,051	1,705,229
四半期純利益	2,759,233	3,811,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,695	20,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,741,537	3,791,140



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	2,759,233	3,811,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224,423	270,315
為替換算調整勘定	△36,537	306,022
その他の包括利益合計	△260,961	576,338
四半期包括利益	2,498,271	4,387,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,481,707	4,367,416
非支配株主に係る四半期包括利益	16,564	20,543

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響について)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,786,722	22,588,271	12,882,048	57,257,042	85,695	57,342,737	30,071	57,372,809
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,784,354	233,119	1,362,746	3,380,219	27,535	3,407,755	△3,407,755	—
計	23,571,076	22,821,391	14,244,794	60,637,261	113,231	60,750,493	△3,377,684	57,372,809
セグメント利益	1,039,468	2,605,587	675,757	4,320,813	57,974	4,378,788	△556,892	3,821,895

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額30,071千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益の調整額△556,892千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△595,639千円、管理会計との為替調整額△15,596千円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、(株)ワイピーテックの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「機械資材」セグメントにおいて、のれん757,004千円を計上しています。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,565,985	26,016,027	18,731,695	68,313,707	91,063	68,404,770	20,812	68,425,583
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,693,080	475,581	1,137,665	4,306,327	24,726	4,331,054	△4,331,054	—
計	26,259,065	26,491,608	19,869,360	72,620,035	115,789	72,735,825	△4,310,242	68,425,583
セグメント利益 又は損失(△)	1,514,197	3,364,195	932,652	5,811,046	△50,970	5,760,075	△676,295	5,083,779

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額20,812千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△676,295千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△666,170千円、管理会計との為替調整額△127,962千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(株)ワイピーテックに関連する事業を「化成品」セグメントとして区分してきましたが、経営管理区分を変更したことを踏まえ、第1四半期連結会計期間より、「機械資材」セグメントへと区分する方法に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社である三洋ライフマテリアル㈱が非連結子会社であった㈱NKSコーポレーションを吸収合併しています。当該事象により、「化成品」セグメントにおいて、のれんが27,736千円増加しています。

当第3四半期連結会計期間において、当社が当社の非連結子会社であった㈱グローバル・トレーディングを吸収合併しています。当該事象により、「化成品」セグメントにおいて、のれんが10,681千円増加しています。